

多様な舞が観客を魅了 1/16

伝統芸能の「梅津神楽」、今年は特別に「ヘンバイ」の儀式も執り行われました

県指定無形民俗文化財の「梅津神楽」が接岨区の接岨峡温泉会館で奉納されました。

多くの町民や神楽ファンが訪れる中、夕方から深夜にかけて梅津神楽保存会のメンバーや地元小学生らが優雅な舞を披露し、五穀豊穰や家内安全、心身健康などを祈りました。今年は、全17演目の終了後に、特別な祈願の儀式である「ヘンバイ」が執り行われました。笑い声や歓声が響いた演目と打って変わって、厳かで張り詰めた空気の中で無事に儀式が終了すると、見物人からは拍手がわき起こりました。



星型に敷いたさらし木綿の上を斎主が移動する「ヘンバイ」

動画
de
広報



節分の意味学び、楽しく豆まき

動画
de
広報

2月3日、節分に合わせて桜保育園では、ヒイラギのとげとイワシの頭を割りばしにつけた「やいかがし」を作って鬼が嫌うと言われるのにおいを体験し、鬼を追い払う豆まきを行いました。また、節分特別メニューとして、鬼面ごはんが振る舞われ、角はウイナーで、髪の毛は焼きそば、目はうずらの卵などで表現し、園児それぞれが作り上げ、節分を楽しみました。



1「やいかがし」作り 2赤鬼・青鬼が登場して豆まき 3香花の葉で邪気を払う 4大泣きする子ども 5「やいかがし」を全ての入り口に 6鬼面ごはんを思い思いに作り上げた 7おいしくいただきました

「コツを学んで、お茶をおいしく飲もう」 1/25

基幹産業である茶業への理解や愛着を深めてもらうため「お茶の入れ方教室」を開催

「お茶の入れ方教室」が中川根中学校で開催され、2年生30人が川根茶業青年団の団員6人からおいしいお茶の入れ方を学びました。

最初に講師の代表が、おいしくお茶を入れるためのコツについて実演・説明をしました。次に、生徒らは数人のグループに分かれて、教わった手順を実践して同じグループの生徒に呈茶しました。普通煎茶だけでなく玉露やほうじ茶など8種類の茶が用意され、生徒からは、湯の温度や入れ方で茶の味が変わることに驚きの声が上がりました。



学んだ入れ方でグループのメンバーにお茶を振る舞う生徒

1/28 「落ちない大石」パワーで合格祈願

町立2中学校と県立川根高校の生徒に贈られました



代表して天狗から合格祈願絵馬を受け取る久保洸人さん

本格的な受験シーズンを前に寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合は、町内2中学の3年生54人に外森山神社にある「落ちない大石」にちなんだ合格祈願絵馬と煎茶パック「落ちない茶」、ストラップをプレゼントしました。

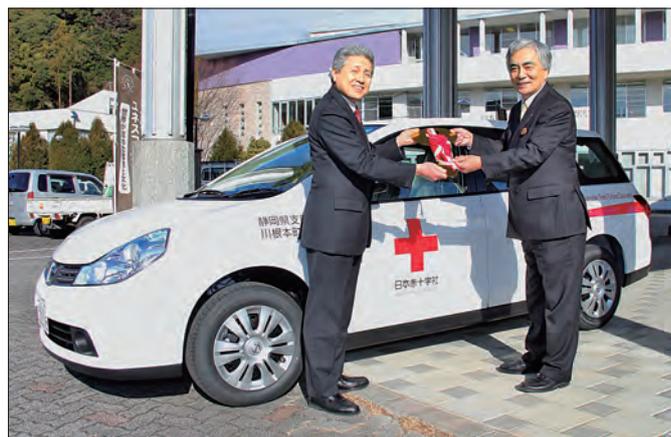
天狗と山伏に扮した組合員からプレゼントされ、代表の中川根中3年の西村柚希さんは「落ちない大石にあやかって、志望校に入学できるよう全力で頑張ります。本日は、ありがとうございました」と感謝しました。昨年12月には、県立川根高校でも同事業を行いました。

「善意の集大成、大いに活用を」 1/21

日本赤十字社より町役場へ、災害救護用自動車^{（災害用救護車）}が寄贈されました

災害救護活動の充実と赤十字事業の円滑な推進を目的として、日本赤十字社より町役場に災害救護用自動車が贈呈されました。

式典では、日本赤十字社静岡県支部の橋本知之事務局長が「活動協賛者の皆さまからの支援で、今回のお渡しことができました。大いに活用してください」とあいさつし、鈴木町長にゴールドキーを手渡しました。鈴木町長は「町域が広い本町では、特に災害時における人や物資の輸送手段の確保が大変重要。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



配備された自動車は、平時では町の福祉活動に活用されます